

日中関係学会対外交流部会・華人教授会議 共同研究会のご案内

日本日中関係学会対外交流部会と華人教授会議は、2021年1月18日（月）に共同研究会を開催致します。

新型コロナウイルス感染が世界で猛威を奮う中、中国はいち早く新型コロナウイルスの封じ込めに成功し、経済をV字回復させました。また、昨年10月に開催された第19期中央委員会第5回全体会議（五中全会）では、第14次五カ年計画のアウトライン並びに2035年に向けた長期目標が示されました。

今般、日中関係学会と華人教授会議では、五中全会で提起された重要ポイントである「双循環」と「技術の自立」を2大テーマに据え、各専門家による発表と討議を通じて、今後、中国が目指す発展の方向性並びに日本及び世界にもたらす影響について解説していきます。皆さまお誘いあわせの上、是非ご参加ください。非会員の方も歓迎します。

◎開催日時：2021年1月18日（月）18:00-20:00（2時間）

◎開催方式：ZOOMによるオンライン方式

◎開催テーマ：「第14次五カ年計画と2035年の長期目標」

～双循環と技術の自立を中心に

◎式次第（予定）

・開会のご挨拶：熊達雲氏（華人教授会議代表・山梨学院大学教授）

【キーノート・スピーチ】

・第1テーマ：「双循環」（20分）

（1）国際循環が世界にもたらす影響について（仮）

苑志佳氏（立正大学教授）

（2）「双循環戦略と中国経済」（仮）

大西康雄氏（科学技術振興機構・CRSC・特任フェロー）

・第2テーマ：「技術の自立」（20分）

（1）中国が目指す「技術の自立」とは（仮）

岑智偉氏（京都産業大学教授）

（2）中国の技術の自立が日本企業にもたらす影響

岡野寿彦氏（NTTデータ経営研究所シニアスペシャリスト、
日中関係学会評議員）

【討議セッション】

- ・ 第1テーマ「双循環」(30分)
モデレーター兼パネリスト：朱炎氏（拓殖大学教授）
パネリスト：苑志佳氏、大西康雄氏
- ・ 第2テーマ「技術の自立」(30分)
モデレーター兼パネリスト：中島俊輔氏（日中科学技術文化センター
事務局長代理、日中関係学会評議員）
パネリスト：岑智偉氏、岡野寿彦氏
- ・ 質疑応答（約10分）

- ・ 閉会のご挨拶：川村範行氏（東海日中関係学会会長、名古屋外国語大学
特任教授、前同済大学顧問教授）

●総合司会：中島俊輔氏

=====

場 所：オンライン開催（Zoom ミーティング形式）

参加者には、順次 Zoom 研究会のリンク先をご案内いたします。

参加費：日中関係学会会員、華人教授会議会員 無料

非会員 1,000 円、 学生非会員は 500 円